



聖高図書館 秋の読書週間

★期間：～11/27まで

★貸出冊数：6冊まで

★返却：借りた日から2週間後



・・・雑誌リサイクル・・・

保存期限の切れた雑誌を
さしあげます

期間：11/15～12/25

図書館に雑誌を置くので自由に
お持ちください

上記期間中に本を借りた人には

図書委員作の「しおり」

をプレゼント



図書委員がおすすめ本から一文を選び
「しおり」にしました
色々あるので選んでみるのも楽しいです



図書委員が本を選びました

大型書店にて図書委員の代表4名が図書館に並ぶ本を
心をこめて選びました

- 『夏休みの空欄さがし』『小説の小説』 似鳥鶏
 - 『あの夏が飽和する。』 カンザキイオリ
 - 『私はだんだん氷になった』 木爾チレン
 - 『ゆきうさぎのお品書き』 小湊悠貴
 - 『あの花が咲く丘で、君とまた会いたい』『あの星が降る丘で、君とまた会いたい。』 汐見夏樹
 - 『ケーキ王子の名推理』 七月隆文
 - 『生命の略奪者』 知念実希人
 - 『死にふさわしい罪』 藤本ひとみ
- ほか計44冊



図書館内に展示したのでぜひ見に来てください

子供の頃、大人はみんなもつと人格者だと思っていた

見本
(両面)

余分な時間ほど美しい時間はない

書名・著者名と本のキャッチコピー

『ホリーガーデン』 江國香織 (新潮社)



おすすめの本の中で心に残った一文



11月のおすすめ本



『線は、僕を描く』 砥上裕将

青山霜介は、バイト先の展示会場で水墨画の巨匠・篠田湖山と出会う。湖山に気に入られ、一方的に内弟子にされてしまう霜介は、困惑しながらも水墨の道へ踏み出すことになる。水墨画がテーマの芸術小説。横浜流星さん主演で映画化された。

『ザリガニの鳴くところ』 ディーリア・オーエンズ

ノースカロライナ州での物語。6歳で家族に見捨てられたカイアは村の人々に「湿地の少女」と呼ばれ蔑まれながら「ザリガニの鳴くところ」へと思いをはせ、ひとり静かに暮らしていた。しかしあるとき、村の裕福な青年チェイスが彼女に近づく。自然と共に生きるカイアの成長と謎の不審死事件が絡まりあい、物語はある結末へと向かう。